

I 第22週の発生動向 (2016/5/30~2016/6/5)

1. 伝染性紅斑については、東地方保健所+青森市保健所管内において**警報**が続いています。
2. 水痘については、むつ保健所管内において**注意報**が解除されました。
3. むつ保健所管内では、警報レベルには達していませんが、**感染性胃腸炎**の定点当たりの患者報告数が多い状態が続いています。
4. 第21週で県内インフルエンザ情報(2015/2016シーズン)の掲載を終了しました。なお、第22週の迅速診断キットによる型別はA型1人、B型15人でした。(型別等の情報については随時掲載します)

II 第22週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ	1	0.08	1	0.07	7	0.47	1	0.14	1	0.11	5	0.83	16	0.25	-42
RSウイルス感染症			1	0.11	1	0.10							2	0.05	1
咽頭結膜熱	5	0.63	9	1.00	9	0.90	5	1.00					28	0.67	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	2.25	9	1.00	25	2.50	2	0.40	5	0.83	1	0.25	60	1.43	-2
感染性胃腸炎	71	8.88	22	2.44	46	4.60	28	5.60	17	2.83	60	15.00	244	5.81	-46
水痘	5	0.63			9	0.90	1	0.20	1	0.17	6	1.50	22	0.52	-8
手足口病											1	0.25	1	0.02	1
伝染性紅斑	12	1.50			2	0.20			2	0.33			16	0.38	-6
突発性発しん	6	0.75	5	0.56	4	0.40	1	0.20	9	1.50	3	0.75	28	0.67	8
百日咳															0
ヘルパンギーナ			1	0.11									1	0.02	-3
流行性耳下腺炎	15	1.88	1	0.11									16	0.38	1
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎			3	1.00	5	2.50	1	1.00					9	0.82	8
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											7	7.00	7	1.17	2
無菌性髄膜炎															-1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			1	1.00			2	2.00	1	1.00	4	4.00	8	1.33	-7

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

- ・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市1人、弘前2人、五所川原1人、上十三1人(2016年計:115人)

IV 病原体検出情報

※()内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・インフルエンザ患者(鼻咽腔ぬぐい液、5/6、5/17)
インフルエンザウイルスB亜型(山形系統):むつ1人
インフルエンザウイルスB亜型(ビクトリア系統):むつ1人
- ・無菌性髄膜炎患者(皮膚病巣、5/25):水痘帯状疱疹ウイルス:八戸1人
- ・A型肝炎患者(ふん便、5/24~5/27):A型肝炎ウイルス:八戸3人

感染症の窓

水痘

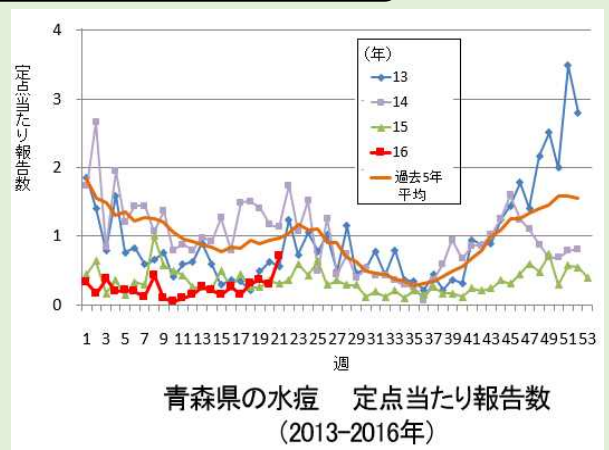
五類定点把握疾患

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は約2週間です。発疹の発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発疹は紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かさぶたになること)して治癒するとされています。

本県では、第21週にむつ保健所管内で**注意報**が発令されており、その影響で定点当たり報告数が増加しています(図赤線)。今後の発生動向に注意が必要です。

水痘にはワクチンがあり、平成26年10月1日から定期接種となりました。1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方を対象に2回接種します。2回接種することで軽度の水痘も含めて発症を予防できると考えられています。※詳しくはこちらをご覧ください。→厚生労働省

HPhttp://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/varicella/



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第12週～2016年第22週）

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
12	H28.3.21 ~ H28.3.27		梅毒1人	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
13	H28.3.28 ~ H28.4.3		梅毒1人				
14	H28.4.4 ~ H28.4.10		レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			
15	H28.4.11 ~ H28.4.17						
16	H28.4.18 ~ H28.4.24						
17	H28.4.25 ~ H28.5.1			A型肝炎1人			アメーバ赤痢1人
18	H28.5.2 ~ H28.5.8						
19	H28.5.9 ~ H28.5.15		梅毒1人	つつが虫病1人	梅毒1人		
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			A型肝炎1人			
21	H28.5.23 ~ H28.5.29			A型肝炎1人 つつが虫病1人		侵襲性肺炎球菌感染症1人	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5						

VI 結核(二類全数把握疾患)（2016年第12週～2016年第22週）

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
12	H28.3.21 ~ H28.3.27		1	4	1		
13	H28.3.28 ~ H28.4.3	1	2	1	1		1
14	H28.4.4 ~ H28.4.10	1	2			1	
15	H28.4.11 ~ H28.4.17		2	1	1		1
16	H28.4.18 ~ H28.4.24	2		4			1
17	H28.4.25 ~ H28.5.1	1		3	1	3	
18	H28.5.2 ~ H28.5.8		1	2	2		
19	H28.5.9 ~ H28.5.15	1	1	1			
20	H28.5.16 ~ H28.5.22			4		1	
21	H28.5.23 ~ H28.5.29		1	3		2	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5	1	2		1	1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国（2016年第1週～第21週累計）

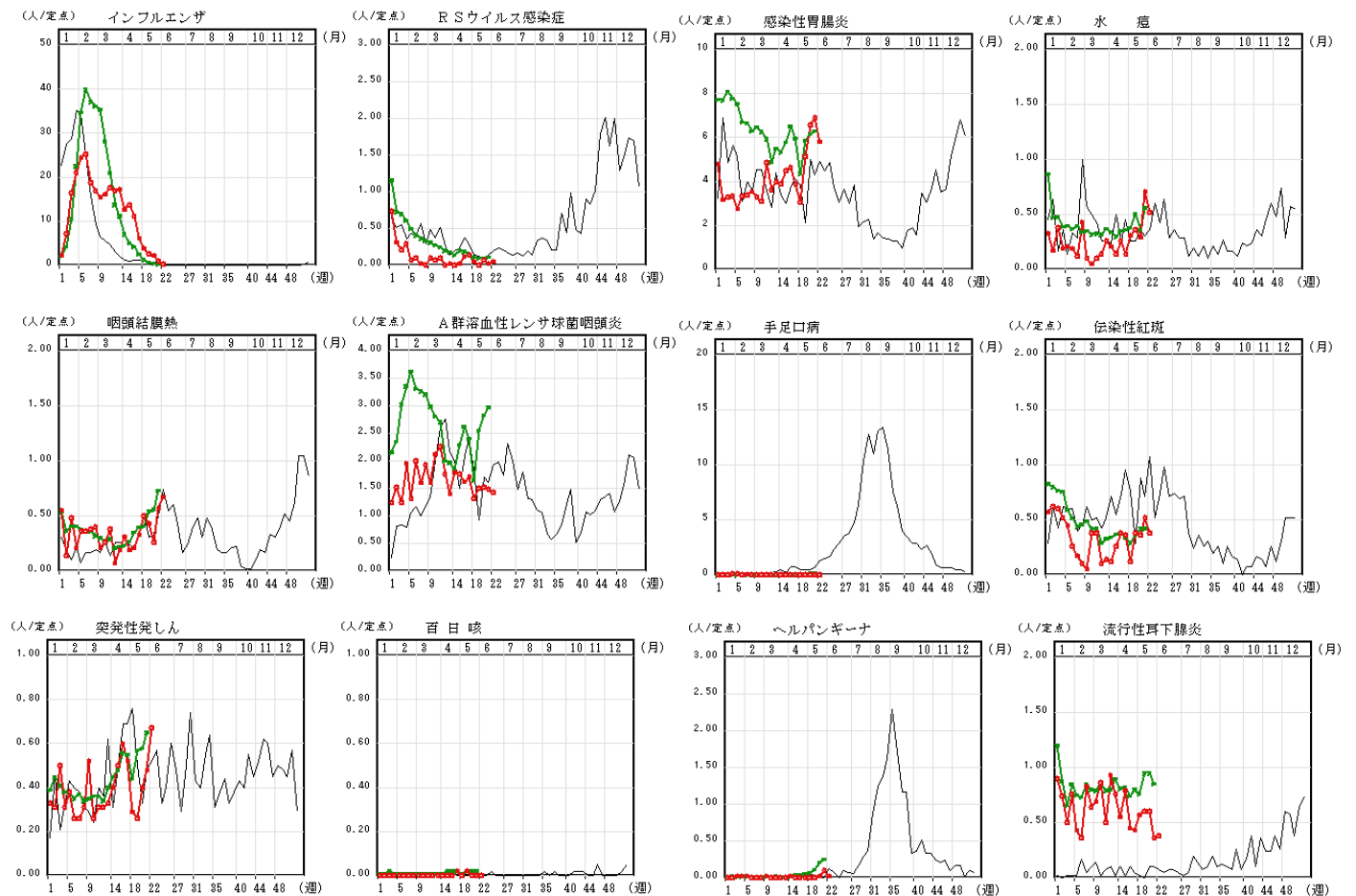
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類			
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回腸熱	コングジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリノス症	マリア	ライム病	レジオネラ症	レブスピア症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	
累積報告数	9401	2	52	369	20	8	184	150	6	2	2	1	6	16	2	67	139	40	1	17	1	450	3	483	100	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	カルバベネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザウイルス感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	種痘性クリプトコックス症	破傷風	パルモマイシソン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症								
累積報告数	546	411	6	70	209	568	24	139	23	1367	118	1560	49	42	17	51	9									

青森県（2016年第1週～第22週累計）

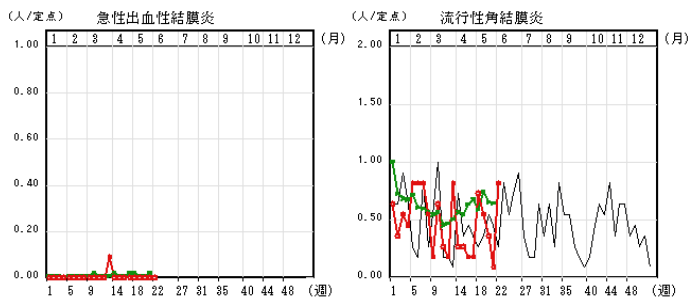
分類	二類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバベネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	
累積報告数	115	4	3	1	2	2	2	8	1	1	1	4	1	6	

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第22週、但し全国は前週)

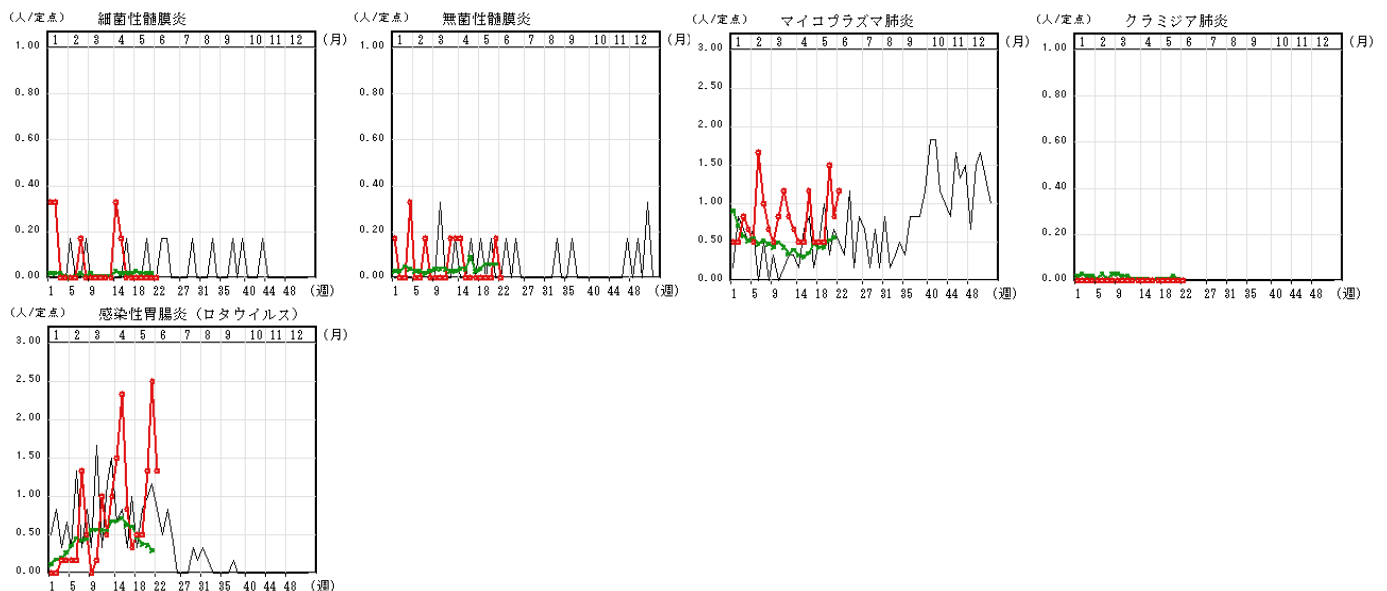
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第22週、但し全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第22週、但し全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第22週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第22週	児童・婦人関係施設等	26	上十三保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	308